

# ハイマート Heimat

ぐんま日独協会・会報

2004年 4月27日 発行

第29号

創立15周年記念

発行者 平形 義人  
発行所 ぐんま日独協会

〒377-0007  
渋川市石原町966 母心堂平形眼科  
☎0279-22-0149 Fax0279-24-6867



ぐんま日独協会Xマス会 2003・12・7 於：ウェルシティ前橋

——出席者（来賓・会員・朔太郎ジュニアオーケストラ）——

鈴木喜代（撮影）

■ハイマート29号……目次……頁

☆ 巻頭言……………	2
☆ 会務報告……………	2～3
☆ 全国日独協会総会報告……………	3
☆ クリスマス……………	4
☆ Sommer Treffen 木村敬三先生……………	5
☆ ひろば……………	6
☆ 中澤晃三顧問を偲ぶ……………	7
☆ おしらせ……………	8

2004年(平成16年) ぐんま日独協会事業計画

…2004年(平成16年3月)～05年(17年3月)…

- ☆4月24日 角田 勤 記念コンサート 4:00pm
- ☆4月25日 総 会 群馬県庁昭和庁舎3F 1:30pm
- ☆6月及び11月 役員会…日本におけるドイツ年に向けて…
- ☆10月 群馬県国際交流まつり
- ☆12月 クリスマス会

(巻頭言)

# ぐんま日独15周年

会長 平形 義人

徳川時代の鎖国を破った西洋文化の日本上陸は長崎出島の和蘭(オランダ)語であったが、その先鞭を切ったのはケンピヤックやシーボルトの独逸人であった。

明治になって医学のベルツやスクリバ・文学のゲーテやヘッセ・哲学のカントやヘーゲル・音楽のベートーベン等綺羅星の様なドイツの偉才が西洋文化を日本に齎してくれた。しかし第二次大戦で敗戦国になった日本はもとよりドイツでも英語を世界語として認めつつある。

いずれにしても日独のこれまでつちかわれてきた交流——お互いの伝統を交流しあう親善の絆は大事にしなければならないと思う。

さて、我々ぐんま日独協会は15周年目の昨年5月から6月にかけて、ブラウンシュバイクの独日協会連合会総会に15人で出席し、フランクフルトに三泊してゲーテハウスを見学、また、ライン河を下ってローレライを歌い、ケルンの聖堂では、草津に駐在したアンネバルコー嬢に案内してもらい、夜はホワイト・アスパラバーターに臨み、ビーナッツ楽団の歓迎のコーラスを堪能した。一日は古都ハイデルベルクの古城に遊び私は44年前石橋長英大博士と来た時と変らぬ風光に感無量だった。(前号の写真参照) 次のブラウンシュバイクの3日は、メルヘン童話で名高いグリムのカッセルの市庁舎食堂にて休憩した。五月晴れの往路のバス旅行は忘れ難い思い出になった。その夜はブロックドルフ会長以下独日協会の全ドイツからの代表との会食は幹事役のバロック輝子、デュッセルドルフの藤本修夫夫妻など親戚に逢った様な親愛なサービスであった。お礼の意をこめて私は44年前に新

聞に出してもらった「魏々」の仕舞を紋付袴を用意して行って舞った。同時に鈴木事務局長夫妻のレントラーはドイツ人を一驚させた。一日はベルリン観光にて古くて新しい首都を恰度キルヒエンタークの20万人の人出の中をやっとバスを走らせて観光、ソニー館内食堂で、名物のアイスバインを食べた。最後の三日は特急ICEでミュンヘンに着き、鈴木局長知人のプシャール・ケラー楽団の歓迎を受けた。南国の三日間を楽しんだ朝はAmsel(クロウタドリ)の声に目を覚まし、ノイシュバンシュタイン城の若き城主の薄命を偲んだ。

帰国してから早速フランクフルトのステア夫妻から写真を添えてお便りがあり、また、今年の神戸の日独協会連合会にはドイツの代表として御出席して下さいました。一昨年の宮古島の日独協会総会に知り合ったボンのメンヒ夫人も元気でボンの会長として来日されました。就中SäckingenのJ.UhlirさんからはHesseの「Über das Glück」の本にテープ迄添えて郵送して下さいました。

「2004. 3. 26には東京四ツ谷にてケルンのマイスター大枢機卿の歓迎会の乾杯の音頭を園田副会長に命ぜられました。「日本とドイツとは第二次大戦を共に戦い互いに苦杯を嘗め廃墟になった国でありながら、不死鳥の如く復活した両国が東西の要石となって共に地球の平和、繁栄の為に共力する時である」と申されました。ハイマート29号を1号から翻きながら、坂東太郎の大河も、群馬の巖に激する源流に始まる如く、今は小なりとも、ぐんま日独協会はその使命の達成に全国の同志と力を合せて努力致したいと存じます。

## 2003年(平成15年)ぐんま日独協会事業報告

…2003年1月1日～12月31日…

- 03年1月15日(水) 会長・副会長会議 高崎市 天竜
- 18日(土) 環境問題講演会 ドイツ人 ゲオルク・レナツ氏を迎えて(新前橋橋社会館)
- 2月13日(木) 役員会…1バロック音楽会 2ドイツ親善訪問旅行について 群馬県国際交流協会 サロン室
- 3月12日 機関紙「ハイマート27号」発行
- 18日～19日 ドイツ大使館公邸イベント 及び 全国日独協会総会(東京) 野馬・高田副会長・鈴木事務局長出席
- 4月16日(水) ドイツ旅行説明会とバロック音楽会打ち合わせ サロン室
- 4月26日(土) バロック音楽会(ドイツ人カメラータ・モデルナ 5名) 群馬県大渡庁舎(前橋市)(青少年に夢を育む会と共催)
- 5月16日 ぐんま日独協会 角田 勤副会長逝去(沼田キリスト教会葬儀) 25～6月5日 9泊11日 ぐんま日独協会平形会長 以下15名 独日協会総会出席のため訪独(フランクフルト・ブラウンシュバイク・ミュンヘン)
- 6月15日(日) ドイツ親善訪問 旅行者 反省会
- 8月26日 機関紙「ハイマート28号」発行
- 30日(土) Sommer Treffen “訪独報告会と講演会” 群馬県昭和庁舎 訪独者代表 6名の報告と元駐独日本大使木村敬三先生の講演 参加者 講演会 会員44名 一般者28名 計72名(本文)
- 9月19日 ぐんま日独協会顧問 井草憲太郎先生逝去 平形会長子問
- 10月13日(日) 群馬県国際交流まつりへの参加 26名(本文)
- 11月1日(土) 前草津町国際交流員 アンネ・バルコー-女史来県 “昼食会”
- 13日(木) 役員会…日本におけるドイツ年のテーマについて… 群馬県国際交流協会 サロン室
- 12月7日(日) 「クリスマス会」参加者91名 群馬厚生年金会館(本文) 朝太郎ジュニアオーケストラの演奏と澤田まゆみさんの“ピアノ演奏”
- 20日 駐日ドイツ大使館のカレンダー-役員方に配布

## 2003年(平成15年)ぐんま日独協会会計報告

(実績・予算対比表) …2003: 1: 1～2003: 12: 31…単位円

合計額 収入額1,526,532-支出額1,345,410  
=繰越金181,122

収入の部	実績	予算	差額
雑入金	168,634	168,634	±0
会費	641,000	542,500	+98,500
一人	378,000(3,000×126)	330,000(3,000×110)	+48,000
家族	13,000(500×26)	12,500(500×25)	+500
一法人	250,000(10,000×25)	200,000(10,000×20)	+50,000
事業費	585,500	455,000	+130,500
バロック音楽会	128,000(2,000×64)	0	+128,000
Sommer Treffen	88,000(2,000×44)	140,000(2,000×70)	-52,000
クリスマス会	360,000(5,000×72)	175,000(3,500×50)	+185,000
Winter Treffen	0	140,000(2,000×70)	-140,000
国際交流収益金	9,500(岩塚等の販売)	0	+9,500
寄付金	118,896	60,000	+58,896
税金	20,000	30,000	-10,000
寄付金	83,000	30,000	+53,000
ふれあい研究会	15,896	0	+15,896
その他(パンチ販売)	12,500	0	+12,500
合計	1,526,532	1,236,134	+290,398

支出の部	実績	予算	差額
事業費	704,470	470,000	+234,470
バロック音楽会	126,700	0	+126,700
Sommer Treffen	84,100	140,000	-55,900
クリスマス会	467,607	175,000	+292,607
国際交流まつり	26,063	15,000	+11,063
Winter Treffen	0	140,000	-140,000
会議費	2,663	10,000	-7,337
通信費	10,690	90,000	+16,900
事務費	6,017	5,000	+1,017
印刷費	429,450(ハイマート×2)	450,000	-20,550
講演会費	0(含謝礼)	0	±0
広報費	0	0	±0
出張交通費	20,000	30,000	-10,000
交際費・寄付金	0	25,000	-25,000
郵便局手数料	15,910	15,000	+910
予備費(パンチ代)	60,000	141,134	-81,134
合計	1,345,410	1,236,134	+109,276

2004年(平成16年)ぐんま日独予算(案)			
…2004:1:1~2004:12:31…			
<b>収入の部</b>			
総経費	本年度予算額	前年度実績額	差額
会費	171,122	168,634	+2,488
	490,000	641,900	-151,900
個人	330,000(3,000×110)	378,000(3,000×126)	-48,000
家庭	10,000(500×20)	13,000(500×26)	-3,000
法人	150,000(10,000×15)	250,000(10,000×25)	-100,000
事業費	480,000	585,500	-105,500
Sommer Treffen	140,000(2,000×70)	88,000(2,000×44)	+52,000
クリスマス会	200,000(4,000×50)	360,000(5,000×72)	-160,000
Winter Treffen	140,000(2,000×70)	0	+140,000
その他パロック	0	137,500	-137,500
寄付金	70,000	118,896	-48,896
その他	25,000	12,502	+12,498
合計	1,236,122	1,526,532	-290,410
<b>支出の部</b>			
事業費	本年度予算	前年度実績	差額
総経費	570,000	704,470	-134,470
Sommer Treffen	50,000	84,100	-34,100
クリスマス会	250,000	467,697	-217,697
Winter Treffen	150,000	0	+150,000
国際交流まつり	20,000	26,063	-6,063
パロック音楽会	0	126,700	-126,700
会議費	10,000	2,663	+7,337
通信費	100,000	106,900	-6,900
事務費	10,000	6,017	+3,983
印刷費	350,000	429,450	-79,450
講演会費	0	0	±0
出張交通費	30,000	20,000	+10,000
交際費・寄付金	0	0	±0
形迹手数料	15,000	15,910	-910
備前費	151,122	60,000(バツグ代)	+91,122
合計	1,236,122	1,345,410	-109,288

## 全国日独協会連合会総会出席報告

日時 平成16年3月15日～17日 2泊3日  
 行き先 神戸市内の会場  
 出席者 平形会長 佐藤副会長 鈴木事務局長

### 2005年の日本におけるドイツ年の事業企画について

- a 総論**
- ドイツ側の窓口は、ドイツ文化センターとドイツ大使館の二通りとなる。
  - 予算については、ドイツ側に負担する用意があるとのこと。
  - ドイツ側の今回の事業のねらいは、ドイツの伝統文化と新しい文化を、日本の若者や女性たちにお知らせ、新しい日独関係の絆を構築したい。
  - 出来れば、大都市だけでなく、草の根的な運動も加えたい。
  - そのためには、全国の日独協会の力を借りたい。
- b ドイツ文化センター**
- 大きな流れとして、ドイツ文化センターがプログラムのメニューをつくり、各地域の日独協会にその内容をお知らせし、その活用を図ってほしい。
- その構想中のものは、次のようなものである。
- ドイツの伝統文化の紹介…絵画・オーケストラ・オペラ・考古学等…
  - ドイツの新しい文化の紹介…若手デザイナーによるファッション・デザイン・写真展・ポップス等々。
  - 小さな展覧会。
  - ドイツ映画祭…200本位は用意可能、会場・機材があれば無料貸し出し。
  - トラック等による日本国内巡回ツアーを考えている。…現在その内容を検討中だが、広場等を準備してもらえば、楽しい催しにしたい。
  - ドイツ語を楽しく勉強する催し。
  - ドイツ青少年オーケストラの公演…100名程度を考えている。エージェントの協力があれば、コンサートも可能。更に日本の青少年との交流が出来れば、大変喜ばしい。
  - 世界の「熊さん」フェア  
ベルリンの象徴は熊であり、またドイツ人は熊に大変な愛情を持っているので、今回巡回展示会を行ってみたい。その場所での販売も可とすれば、そのマージンで運搬費と専門職員の費用がでるのではないか。
  - 印刷物・ポスター・カレンダー等の製作・配布を考えている。申し出を。
  - 各種・各地の行事については、インターネットを通して日本国内に配信する。
  - 一方、日本訪問を促すPRメニューもインターネットを通してドイツ国内に送信したい。
- c ドイツ大使館**
- 各地日独協会が企画した行事については、その内容・予算をつけて、夏から秋にかけて、大使館宛て提出してほしい。
  - ぐんま日独としては、人物紹介として、ベルツ博士とブルーノタウトを、都市交流としては、沼田市と草津町、その他環境

関係・青少年サッカー等も考えられるのではないかと。  
 3 大使館としては、予算や全般的なバランスを見て、選考したいとのこと。

### d 今後の進め方

- ぐんま日独としては、準備委員会を設立させ、素案作りをはじめ。
- 群馬県内の県市町行政・国際交流協会・青年会議所・等とコンタクトを取り、協賛の可否・会場の確保・人集め、多少の予算化等を依頼する。
- 東京の日独協会・ドイツ文化センター、ドイツ大使館と折衝を行いもろもろの事業の可能性・内容等をつめる。
- 企画・予算案を夏ごろまでにまとめる。

### c 各種講演

- シュミエーグロ駐日ドイツ大使。久米前駐日日本大使。シュテアー日独協会副会長等6名の方から講演があった。

### d 2005年の日独パートナー会議

平成17年3月に栃木県宇都宮市で、橋本柁木日独協会会長の主催で行なう。

この会議は、若者中心で行なうもので、全国の日独協会は、協賛となる。

### e その他

事務局体勢の整備方策等、ドイツ年にかかわる各種の懸案事項は全国日独協会の会長・副会長会議の協議に一任する。

以上

## パートナー会議開催

日本におけるドイツ年・2005年/2006年の一環として

日独パートナー会議

### 趣 旨

2005年/2006年は「日本におけるドイツ年」の年に、私たちは両国の益々の友好と強い絆を作るため、「日本におけるドイツ年・2005年/2006年」の一環プロジェクトとして、「日独パートナー会議(Deutsch-Japanische Partnerkonferenz (DJPK))」の開催が日独より深い友好関係を、草の根運動の立場から、促進するのが狙いである。メインテーマ 栃木県から提唱され、日独協会連合会は共催に賛成した(3/16神戸大会)「これからの若者をどう育てるか。日独青少年の交流を目指して」

### 主 催

宇都宮市国際交流協会、日独企業、マスコミ。

### 協 力

ドイツ連邦共和国大使館、ドイツ学術交流会、文部省、外務省、栃木県、宇都宮市、石橋町、各新聞社、テレビ局などを予定している。

### 開催場所

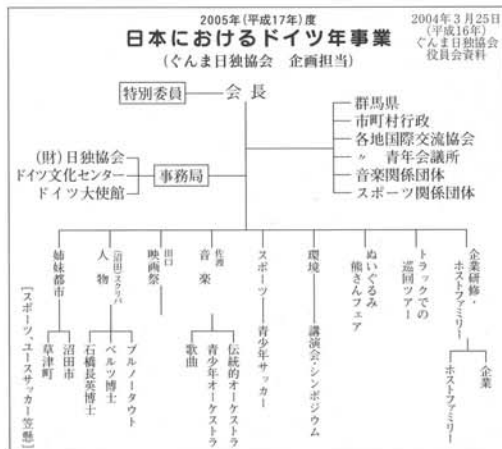
宇都宮市内

### 実施時期

2005年愛知万博の開会に合わせて、2005年3月23日、24日の2日間とする。ドイツの復活祭休暇(2005年3月21日から4月4日)に合わせる。

### 参加費

無料。ただし、交通費、宿泊費、食事、パーティ参加費は参加者負担。  
 会議の実施に際しては、旅費・滞在費の大半は自主財源。しかし、この度、幸いにも総務省からの助成金の内示を受けた。(¥120万)



2003 (ぐんま日独創立15周年)  
**記念クリスマス会報告** 2003  
 12.7  
 副会長 島田卓爾

◇ 当日までの準備について—  
 企画・実施が担当制になって第2日目、去年うまくやれたのだから今年も—とかなり強引に引き受けさせられたのが7月末、ましてことし平成15年はぐんま日独協会創立15周年の記念すべき年のクリスマス会であるので、思い出に残る、すばらしい会にしたいとの願いもあるのです。多士済済の本会のこと、ほかにTさんもKさんも居られるにと思いが、心ならずも踏み込んでしまいました。

まず、恒例の音楽は—ピアノを会員の澤田まゆみさんに頼み、もう一つは練習会場を平形会長が貸与してあげている「朝太郎ジュニアオーケストラ」に出演してもらって取りました。12月初旬の場所確保は早いもの勝ちの鉄則から、従事と違ってピアノのある条件で Wellcity Maebashi (群馬厚生年金会館) を予約してとることができました。すると自動的に会費が少々割高となり、役員の方々から異論もあったようです。

つぎに、折角交通の便の良い場所が得られて豊富な内容を盛り込んだのなら、お呼びする来賓にも一工夫あってもよいと思って、関係ある各界の名士にお声掛けするようにしました。

あとは、プログラムの作成と効果的な進め方、会場のしっらえさえうまくゆけば全体として盛り上がるだろうと予想しました。

何度かの準備会に次の方々が集って下さり段取りのご相談に乗っていただきました。

鈴木事務局長夫妻、井口理事夫妻、川島常務理事、澤井理事、松田会員、ジュニアオーケストラ青木音楽部長、この方々はクリスマス会当日もそれぞれの役割を担って活躍下さいました。

◇ 会の当日の様様について—

平成15年12月7日(日)午後4時、Wellcity 3階客の間、参加者全員起立の上最初に「日本国歌」に続いて「ドイツ国歌」をCD演奏に合わせて斉唱して開会しました。また、ドイツの愛国詩人 Helderlin の Ode Gesang des Deutschen 詩の朗読は埼玉大学教授安達忠夫先生(カセット)にお願いしました。

次に、朝太郎ジュニアオーケストラ団長の戸澤義夫先生(群馬女子大学図書館長・教授)の挨拶と佐藤進一副会長の曲の解説があり、デリジェント佐藤光俊先生、ジュニアオーケストラ16名の弦楽アンサンブル、モーアルト作曲アイネクライネナハトムジーク(アンコール曲1)の演奏を聴き、続いて、ピアノ演奏澤田まゆみ会員のシューマン作曲子供の情景からトロイメライとリスト作曲愛の夢を、感動をもって聴き出すことが出来ました。

一旦会場の外に出て全員で記念撮影をしました。ついで会場に入って式典に移り、最初は鈴木事務局長から「日本におけるドイツ年」の計画説明があり、平形義人会長の15周年を迎えた本会の足跡と存在意義についての会長ご挨拶がありました。

当日ご参席をいただいた主なる来賓方々は 参議院議員山本一太、入澤肇ご夫妻、第12旅団長松永敏将補、前副知事高山昇、県会議員橋爪洋介、県国際課長井田建、前橋市文化政策課長秋山登、陶芸家榎葉正幸ご夫妻、画家表具師鈴木克男、草津町交流員 Kögel Marglet、パン工房 Gizea Maria 黒沢さん他の皆様方が代表して山本・入澤・高山・橋爪の四方からご祝辞をいただきました。衆参国會議員から祝電をいただき披露がありました。

ここで会場内の照明がぐっと落ちたところにヴェールを被ったジュニアオーケストラの少女たちが「Stille Nacht」のハミングに乗って幻想的なキャンドルサーブで入場、平形会長から一人々々にクリスマスプレゼントが手渡されました。

井田国際課長のご発声により、用意されたドイツワインで Zum Wohl! 懇談と会食に入りました。川島常務理事が各テーブルを廻って参列者のスピーチをいただきました。

いよいよ会は最後のお別れの時間を迎えて鈴木克彬ご夫妻による南ドイツ舞踊「レントラー」で大喝采をいただき、全員でドイツ民

謡Abschiedを合唱してしめくりました。  
 木暮金太夫副会長のお礼のご挨拶をもって閉会 Aufwiederschen! となりました。

◇ ご参考までに—  
 最初に述べましたように、いろんな方々のお力添えをいただいて過去最大多数92名の参加で大成功裡に終始いたしました。  
 茶道家の白波瀬はつえ・和代先生、会員の塚越平人、伊藤廉平、小林和男さん方から特段のご芳志をいただきました。朝太郎ジュニアオーケストラ演奏者のご馳走並びに保護者へのお弁当は、平形会長の篤志により、その他クリスマスプレゼント・装飾品等の用意は何人かの会員ボランティアによるご奉仕であったことを加えさせていただきます。(記録 島田卓爾)

からの拍手が響き渡って  
 いた。  
**15周年記念し  
 クリスマス会**  
 前橋でぐんま  
 日独協会  
 ぐんま日独協会(平形  
 義人会長)の創立15周年  
 記念クリスマス会が7  
 日、前橋市古市町のウェ  
 ルシティ前橋で開催され、  
 出席した会員らが楽しい  
 ひとときを過ごした。  
 開会の冒頭で朝太郎ジ  
 ュニアオーケストラが「  
 アイネ・クライネ・ナ  
 ハトムジーク」などを  
 演奏。会員でピアノを  
 の澤田まゆみさんも登場  
 が年間の活動報告や20  
 〇5・〇6年の「日本に  
 おけるドイツ年」に向け  
 た行事について説明。平  
 形会長が日本とドイツの  
 友好について話した後、  
 パーティーが始まり、会  
 員が歓談したりイベント  
 を楽しんだ。  
 演奏を披露した朝太郎  
 ジュニアオーケストラ

二〇〇三年二月八日 上毛新聞

**協会15周年を祝い、実直な朝太郎オーケストラに  
 感謝、澤田まゆみのピアノ演奏に感激さめやらす**

渡川市 小山 宏

素晴らしいリストの演奏が心にし浸りました。ドイツ人の研ぎ澄まされた音感芸術が日本人の実直なピアノのテクニックで、リストの想いが甦った様な情感に浸った。そこには静聴する各方面の参加者がいて、群馬にもこの様に良い催しがあることに感謝し、急ぎかけた幸を味わった。



私は聴導犬認定第一号を含む祝賀会が東京池袋であり、八代衆議院議員らと列して戻ったばかりなので「音のない世界に生きる人々」にこの福音をどうお伝えすべきかを思う。今年は盲導犬、介助犬、聴導犬などの補助犬法が成立施行した記念すべき年、その犬の殆んどは私が相談役をしているジャパンケンネルクラブ(世界66ヶ国加盟)の登録犬たちである。

日本は高齢化社会の中でさらに高福祉を求められている。そして何よりも世界平和を希求しながら、イラク問題にしても今一人一人の決断と行動が求められていると思う。

**十五周年を祝して**  
 小山 宏  
 献句  
 ピアノ弾く背に聖樹のほの灯り  
 ザビエル祭クレイムおきリスト奏  
 リスト奏これ音楽のルネッサンス  
 聖奏の心はすべりリスト奏  
 リスト弾く背に聖夜は深めけり  
 二〇〇三年十二月七日  
 (博物館長・文博)

Sommer treffenに於ける **講演**  
**木村敬三先生の後援要旨 (2003. 8. 30)**  
**ドイツの現状**

1. 2002年秋総選挙 一般の予想に反してSPD勝利 (6000票の差) その原因  
 1. イラク政策 (国民の反戦気分に乗る) 2. 洪水対策の際のテレビ効果、3. 個人的魅力。

2. ドイツの現状 その優れている点。(1) クオリティオブライフ (イ) 実質所得の高さ、社会インフラ 道路、町並みの清潔さ美しさ、サイクリング道路の完備、環境保護の先進性 (ごみ、リサイクル、都市の車乗り入れ、伝統と美観保護 高さ規制 ポン大使館の例。(ロ) 福祉の水準の高さ 年金 健康保険 温泉療法もOK その他失業保険、介護保険も厚い 貧困は殆どない。(ハ) 経済面で優れている点 物づくりの伝統 マイスター制度 企業内研修の充実 効率高い事 (労働の密度が濃い) (ニ) 国民と政治の現場に近い 連邦制と地方自治

3. その問題点 (イ) 非常に高い失業率。特に東は実質20%を超える。(ロ) おそらく世界で最も厚く保護された労働市場と非常に強い労働組合 いったん雇用したら解雇は極めて困難 病休 (6週間までは100%保障) 月、木曜は休みが多い 労働時間の規制(日曜は労働は原則として禁止、自動車を洗っていたらとがめられた。ウィークデイ 8時、土曜 4時。少しずつづつ良くなっていくが特に日曜日の問題については教会、組合、小商店主の反対が強い。これが自由化すればかなりの雇用増となる)。(ハ) 失業保険の水準が

高いため職業につかない若者が増えている。現在考えられている改革案では、幹旋会社が幹旋した職を断るものには失業保険を払わない事が検討されている。(ニ) 規制が多く且つ厳しい。独 (特にロシア) の国民性とも言われる。官僚的規制を好む伝統。(ホ) 社会保障が厚すぎる。年金保険費の割合 対GNP 独12% 日8% 失業保険 もっとも有利な場合月20万円を3年もらえる。退職年限は65歳だがその前に退職したがるものが多い、第二の人生を楽しみにしている人々。日本との違い。(ヘ) 最大の問題 人口の減少 今後30年の間に人口は82百万から60百万に減少する見通し。これを支えるためには毎年数十万 (26・50) の外国人労働者を入れる必要あり。これが原因で外国人入国法が国会に提出されもめている。(ト) ただし危機がすぐくるというわけではない。かといっていつまでもほっておくわけには行かない。シュレーダー内閣も改革に着手。(Agenda 2010) 最大の問題は国民がこれについてゆくか及び労組の反対。 以上

(追記) 木村謹治文学博士は先生のご尊父様であり、(財)日独協会の最高幹部としてぐんま日独には何回も出張ご指導を賜り、今回は特に東西ドイツの大使を歴任され、合併後も引続きベルリン日独センターの総裁をされながら、絶え間なく全国日独協会連合会を副会長としてご指導下され、更に承ればイラク大使も三年お務めた時代にはフセイン氏とも話合った仲であられた由、なお、文芸春秋四月特別号には『平成30年の大事件の目撃者をしてベルリンの壁崩壊、世界は動いた』を執筆されて居られます。



2003(ぐんま日独創立15周年)

記念クリスマス会 



# ひろば

旅に知る列島花の山河あり

菜の花をへだてし村の能舞台

禅堂に襲ひかかりし余寒あり

小林 和男

離のころ

井口 桐花

離だすに箱書きの文字うすれをり

瓔珞の欠けし古離すましるる

曾祖母に似たる面差し天保離

御下向の皇女和らぐ貝合せ

壺すみれ井戸の石組茶屋本陣

## 群馬県国際交流まつり

(県庁前広場 嵐のため中断)

県国際交流まつりに平形会長はじめ、皆さまテントにお揃いで和気あいあいの13日でしたが、「ミニ嵐」で会長の雨ニモマケズ風ニモマケズの勇姿にマケズと皆さまも一団となってテントを守りきりました。本当に無事故で何よりでした。

鳥田先生ご夫妻による「アルペンザルツ」宣伝販売、「住まなきわからぬドイツ」熊谷 徹著も好評でした。

フォークダンスでお忙しい鈴木事務局長ご夫妻もワインの用意等、ご手配、ご準備、全て完璧でお見事でした。

ドイツ旅行の写真もパネルにすらりと並んでワインの試飲会も「ツンボール」の楽しい掛け声で、テントの中も北爪さんの「カウベル」の音も相まって、賑やかでした。はるばる町田市よりドイツ製くるみ割り人形もテントにお客さんを集めてくれました。

本当に平形会長あつての「ぐんま日独協会」で楽しかったです。(澤井修子)

平成15年10月13日(月)国際交流まつりに参加の皆さん

- |                  |                     |
|------------------|---------------------|
| 1 平形会長           | 22 澤井修子             |
| 2 佐藤先生           | 23 フォークダンスの皆さん      |
| 3 鈴木事務局長         | 24 ドイツ女性            |
| 4 鈴木夫人           | 25 ワイン試飲の皆さん        |
| 5 川島先生           | 26 アルペンザルツお買い上げの皆さん |
| 6 鳥田先生           |                     |
| 7 鳥田夫人           |                     |
| 8 北爪氏            |                     |
| 9 松下氏            |                     |
| 10 松下夫人          |                     |
| 11 黒田とめ子先生       |                     |
| 12 田口さん          |                     |
| 13 渋川さん          |                     |
| 14 対島氏           |                     |
| 15 井上敏子さん        |                     |
| 16 井口 實氏         |                     |
| 17 井口夫人          |                     |
| 18 高橋徳光先生        |                     |
| 19 高橋夫人          |                     |
| (町田市より小さなミュージアム) |                     |
| 20 中村さん          |                     |
| (木製のくるみ割り人形を)    |                     |
| 21 塚越小枝さん        |                     |
| (高崎の生花の先生)       |                     |



## 中澤晁三翁のハイマートの足跡

- ① ぐんま日独創立(1988. 4. 17)
- ② 『日独両ロマンチック街道の姉妹締結調印式』(1188. 11. 25)を報じロマンは人と人にもあるが国と国とのロマンチック街道であると説く。(ハイマート1号)
- ③ 『草津夏期国際アカデミー』は草津温泉の歴史の中で最大の意味のあるイベントである。古く加賀百万石の宰相前田利家が金春七郎を伴って草津温泉に来て多分能楽をやったであろうが、これからは難病に効く草津温泉がこれによって世界の音楽のメッカになるのだ。(ハイマート4号)
- ④ ぐんま日独5周年大会に於てドイツ大使 W. Haas

からE.V.ベルツの研究に基き、その生地ピーテッヒハイム・ビッシンゲン市との姉妹都市。日独ロマンティック姉妹街道締結等を称賛されて表彰状を受く。(ハイマート8号)

- ⑤ ベルツ賞、インターナショナル・ツーリスト賞受賞。ベルツ未公開資料をアウフガング・ツム夫妻よりの寄託あり。今日東海大出版部より『ベルツの日本文化論』『ベルツ日本再訪』発刊となる。(ハイマート10号)
- ⑥ 2002. 9. 12. 中澤晁三翁建立除幕さる(草津道の駅地内)

「月よみの冴えて寂しきこの出湯に 住みつきたりし祖らを思ふ」(ハイマート26号)

(会長 平形義人)

弔 辞

温泉を愛し、郷土を愛し、短歌を愛し、併せて温泉の保護と適正利用に尽くし、ベルツ博士の研究では第一人者である中澤晃三氏は草津温泉の名門大阪屋旅館の中澤市郎次氏の次男として大正十年十月三日草津町に生まれました。成長するや県立前橋中学校に学びその後、市川すずいさんと結婚されました。昭和二十六年大阪屋旅館専務取締役就任、草津のみならず地域の文化振興や観光開発、温泉研究に奔走西走し西吾妻郷土研究会を設立しその会長に就任されました。また、数回にわたりヨーロッパの温泉事情を観察し温泉保養地構想を草津温泉に導入し、中澤ヒレツジを長兄の清氏と共に設立しその後社長に就任され、さらに市川善三郎氏とベルツ協会も設立されました。

私が初めて晃三氏にお目にかかったのは昭和三十三年二月、東大物療内科から群大草津分院へ赴任した時であります。以来、温泉研究に或いはベルツ博士の研究も語りあつた間柄でありました。またぐんま日独協会も平形会長を中心に当初から副会長として参加されました。昭和六十三年、ドイツロマンチック街道と日本ロマンチック街道が姉妹街道締結した時も大活躍をされました。

また前橋グリーンロードでも平成二年開催されたくぐんま国際温泉フェスティバルでは展示部門の実行委員として尽力され六日間で十七万余の入場者を記録致しました。また牧水コース設立にも関係町村の協力を得て広域観光コースを完成させました。そのほか草津温泉観光協会会長、群馬県観光副会長、群馬県温泉協会副会長、草津町教育委員などをはじめ、日本温泉協会常務理事、さらに機関誌「温泉」の編集に携わり、平成九年には特集「地熱と温泉」を出版されております。

そもそも「地熱と温泉」は同一の資源でありますので温泉源に及ぼす影響をゆうりよし、日本温泉協会では中澤晃三委員長を中心として全国的な調査、資料の収集をいたしました。これらの努力の結果、白根山地熱発電計画の反対が成功し、これ等の結果が多くの温泉においても地熱発電を中止することが出来たのであります。「ベルツ博士と群馬の温泉」は中澤晃三氏と横山秀夫氏と私の共著であります。近年では中澤晃三氏所属のベルツ博士遺稿、日記及び論文が東海大学出版委員会から出版されております。

中澤晃三氏はかつて新聞紙上に「ベルツ博士は私にとつても郷土草津にとつても恩人で全生涯をかけて恩義を返したい。今後は世界的な温泉をむさむさ漬やすことがないよう、ベルツ博士が草津に何を与えてくれたをしつかりと後世に伝えていきたい」と述べておられます。平成十四年九月十二日には中澤晃三歌碑建立除幕式が行われ、その後平成十五年七月十八日より嬭恋村（かば）荘老人ホームにて病氣療養中であり、一日も早い御回復を願っております。矢先の御逝去であり誠に残念でなりません。本日ここに葬送の儀が執り行われるにあたり、温泉や地域の発展に尽くされた数々の御成績に対して深く感謝の念を捧げるものであります。ここに最後のお別れに臨みありし日を偲び御魂安らかならぬことを念じつつ弔辞といたします。

平成十六年一月十六日

日本温泉協会 名誉会長  
群馬県温泉協会 会長  
木 暮 金 夫

中澤晃三氏の葬儀から



故 中澤晃三氏を悼む

横山 秀 夫

平成15年12月30日、私ども「ぐんま日独協会」の顧問中澤晃三氏が、永い闘病生活もむなしく、82歳をもって惜しくも逝去されました。中澤晃三氏の病床を離れず献身的に看護に当って来られた、すずい奥様の悲しみは如何ばかりかと、慰めの言葉もみつかりません。唯心から悼みを申上げるばかりありません。

中澤晃三氏は、ぐんま日独協会の設立について、現平形会長はじめ、木暮金太夫先生、佐藤進一先生はじめ、役員の皆様方とともに情熱をこめて奔走して来られた一人であった。

中澤晃三氏は、県立前橋中学校在学中に、肺結核を患い、咳血のため卒業を待たずに退学、療養生活に入らざるを得ないことになり、以後青春時代のほとんどを闘病生活の中に過ごしたのであるが、その病中に、たまたま讀んだ本が、岩波文庫の「ベルツの日記」であった。その文中に「草津には世界は無比の温泉と山の空気、そしてきれいな水がある。もしヨーロッパに、このような温泉があったらカルスバード（現チェコ国カルロ・バリ）より賑はいい、巡礼となって人々が訪ねてくるだろう」と書かれていること。ベルツ博士みづから、草津温泉を保養温泉として、サナトリウム建設など、新しい温泉地作りの構想を練られたことなどを知って、強い感動を受け、草津の温泉を愛したベルツ博士の意志を受け継ぐことを生涯の願いとし、自分の人生のすべてを、温泉の保護と発展に尽くすことを決意したのであった。

敗戦直後の草津温泉の食糧難を切り抜けるために、病気が落着くと同時に、嬭恋村仙之入に入植、開拓民の一人として、働くのであるが、病気の再発によって、これも挫折、再び永い闘病生活を強いられることになった。肋骨14本を切除するという重体の中で、生命の火を燃やしつづけて遂に病気を克服、草津温泉大阪屋旅館の専務に就任、戦後の新しい温泉地作りに奔走することになり、ヨーロッパの温泉地視察や、温泉研究にその半生を捧げるようになって行った。

ベルツ博士の国ドイツは中澤晃三氏にとって、温泉研究の大学であったのである。ぐんま日独協会は、中澤晃三氏にとって同志の集うところであった。中澤晃三氏について語る時、尽きることのない多くの思い出がある。いまはまだ、生前の御恩顧に感謝し、御冥福を祈るばかりである。

(ぐんま日独協会常任理事)

## ハイマート消息

04. 3. 26 ケルンの大聖堂のマイスナー大枢機卿が上智大学の法学部講座新設にて来日、(財)日独協会では四ツ谷の“スクワール麹町”で歓迎会を催され、平形、対馬、井上が参加。(写真)

井上 橋本 対馬 2004.3.26



園田 マイスナー大枢機卿 平形

04. 3. 30 (財)日独協会役員総会に於て、副会長に木村敬三大使留任、堀田博司氏が新任された。堀田氏は「一ツ橋」出身、卒論はマックス・ウェーバ、旧八幡製鉄入社、新日鉄デュッセルドルフ所長、同市日本商工会議所会頭二期、現日新製鋼「上席常務執行役員」。ご退任された前副会長園田和朗氏は1991年ぐんま日独協会にご来県下され、東西ドイツ統合の成果と問題点をご講演頂きましたことはお忘れられません。

Gute Besslung Alles Gute!

\*

04.4.3.草津の熱心なぐんま日独会員坂本喜市氏は能登の神宮の血筋で、大東館勤務の傍ら作詞を好み、詩人の会「暦程社」に属し、那珂太郎先生の知遇を得、又文化勲章受賞の圓錐勝三先生に愛され、殺生や音楽の森にその作品を齎らし、自ら日本武尊と弟橘媛命のロマンを作詞して「山媛呼」その他の詩や写真を残し、県下最高峯の齋藤民先生のご指揮でその発表コンサートが何回も持たれて来ました。昨年1月18日2.35pmご逝去にて、齋藤民先生を中心とするや「青少年の夢を育み坂本喜市氏を偲ぶ会」が企画され、ぐんま日独協会の協賛にて、渋川市民会館で「山媛呼」コーラスが盛大に催され、草津姉妹都市横須賀走り水代表小宮佐地子さん、詩人代表梁瀬和男さん、友人山本さんの追悼の辞、遺族代表坂本陽由氏の心のこもる謝辞があり、男女200人のコーラス、満堂の1,000余の聴衆に深い感銘を与えました。



### 追悼

顧問 井草憲太郎先生が'03年9月19日に御逝去されました。一高・東大(医)を卒業。海軍々医としてカダラルカナルに米軍とマラリヤと死闘し、復員後は得意の語学者としてロータリーで活躍され、後輩外人に知人多く、日独協会創立以来顧問をお願いしました。ベルリンの壁は万里の長城に比すべしと言うのが常でありました。

御冥福を祈ります。

著者 白い黒人 ある海軍防備隊の戦記風小説  
井草憲太郎著 (日経事業出版社)

### 【新会員募集長】

年会費法人10,000 個人3,000 家族500 ¥  
希望者は下記へご連絡下さい。  
〒377-0007 渋川市石原966 母心堂 平形眼科方  
TEL 0279-22-0149 FAX 0279-24-6867

角田 勤先生記念コンサートが04. 4. 24 3:00開場、4:00開演、利根沼田文化会館大ホール、全席自由1,000円で開催されます。出演者の多数の中には、ぐんま日独協会のクリスマスに御出席の方もいらっしゃいます。角田先生のSommertreffenのことを思い起して是非御出席下さりたく願ひ上げます。

### 角田勤先生に捧げる

横山 秀雄

いつの日にも君の笑顔に迎えられき

我が知らぬ日逝き給ひける

自らの死がすぐそこに来てみると知りみて

日独の集ひにしましき

戦場の死よりも壮絶に自らの死を

見てみまし角田先生

「ぐんま日独」設立の日より君ありき

忙がし医業を沼田より出て来て

亡き君を心に秋の沼田にをり

切り絵美術館けふは訪ふべく

切り絵館巡りつつ今しが後ろに

角田館長立たすがにおもふ

君により開かれし関口コウ切り絵館

童子童女の永遠に遊べる



- 1) 日本はどう報じられているか (新潮親書)  
石沢靖治 福田直子 ¥680円
- 2) 住まなきやわからないドイツ (新潮文庫)  
熊谷 徹 ¥438円

### 後記

神戸の全国連合会に於て古森重隆会長から日独の為に一歩々々の前進を呼びかけられ、Schmiegelous大使から“日本に於けるドイツ年に資金的にも留意して、特に両国の未来の発展に期す”とお話がありました。忘れられないのはケルンのマイスナー大枢機卿の“日独両国は共に敗戦のどん底から努力して今日大国の仲間になれたのは神様のお蔭である、世界にはイラクよりもっと支援を待望している国もたくさんあることを忘れてはならない”とお告げである。三寒四温の言葉の様に油断のならないお天気、世界のニュースも混迷を増すばかり。これは贅沢！衣食足って礼節を知る時がきたのだと自省しています。



文化勲章受章者 円錐勝三作

### ◇原稿ご案内◇

日独交流につながるご感想・情報・会員消息・作品を住所・氏名・職業・年齢・電話番号明記の上、お寄せ下さい。紙面の都合で編集部で手直しさせていただきます。(800字以内)

◎原稿の返却は致しません。編集責任者(川島孝一)